

岩手県技術士会 研究会活動報告

活動名	現場研修会（玉川大橋下部工大口径深礎杭工事）	（CPD 番号 25—8 ）
主催	日本技術士会東北本部岩手県支部施工研究会	
日時	平成 25 年 10 月 11 日（金） 13：00 ～ 14：00	
場所	九戸郡野田村大字玉川地内	
参加人数等	9 名	

活 動 内 容

- ・ 工事現場事務所で施工業者（宮城建設）の現場担当者からの事業概要について説明を受け、その後、雨降りであったが、現場の作業状況を見学した。
- ・ 現場は、国道 4 5 号から数百 m 西側の、谷地形部にあった。

（位置図）



（工事概要）

- A1 橋台：逆 T 式橋台 H=17.0m
深礎工（φ 3.0m 4 基）
- P 1 橋脚：短柱式橋脚 H=15.0m
深礎工（φ 10.0m, L=13m）
- P2 橋脚：短柱式橋脚 H=15.0m
深礎工（φ 10.0m, L=13m）

- ・ P2 橋脚の現場で、深度 10m 地点の作業状況を見学した。
- ・ 作業内容は岩盤掘削後のモルタル吹付け後のロックボルト用の削孔作業中であった。
- ・ 現場は、機械化され、移動式の削孔機で 2 名での作業で施工速度は速いと感じた。
- ・ 粉塵がかなり発生し、送塵機を回していたがもやった作業環境であった。
- ・ 現場代理人から聞いたところ、通常は水掘りだが、クリ粉が立ち目岩盤の層理にひっかかり、トラブルが発生したので現在、空堀で施工中とのことであった。

（P 2 深礎）

（P 2 ロックボルト用削孔）



- ・ 次に P1 の現場は、作業員配置の関係上、休工中であったが、掘削機械（小型 BF）を見ることができ、施工をイメージできた。大口径深礎の現場はめったに見られない現場であり、参考となった。

（P1 深礎掘削機械）

（集合写真）

